

2019年4月26日

各 位

## 第56回ギャラクシー賞 ラジオ・テレビのMBS2作品が奨励賞を受賞

放送批評懇談会が審査・選出する「第56回ギャラクシー賞」にてMBSの2作品がテレビ部門、ラジオ部門でそれぞれ奨励賞を受賞しました。受賞番組の概要は下記の通りです。

### 記

#### ◇テレビ部門 奨励賞

番組名： 映像'18 バッシング ～その発信源の背後に何が～  
放送日時： 2018年12月16日（日）25:05～26:05  
スタッフ： プロデューサー 奥田雅治（報道局ドキュメンタリー報道部）  
ディレクター 齊加尚代（報道局ドキュメンタリー報道部）

歴史社会学者の女性大学教授に降りかかった、SNS上でのバッシング騒動。慰安婦問題に詳しいこと、セクハラ撲滅の「#MeToo」運動にコメントしたことなどのせいか、ツイッター上で「反日学者」と名指しされ、「国益に反する研究」と中傷されたのです。反日を排除しろ！敵をつぶせ！人々の攻撃性を煽るこうした言説や行為は日常化し、知識層に襲いかかります。なぜバッシングは起きるのか。二極化する社会の流れの中、人々の心を掻き立てる、その背後に何かあるのかを直視した番組です。

#### ◇ラジオ部門 奨励賞

番組名： 金村義明の ええかげんにせえ～！  
放送日時： 2018年12月11日（火） 18:00～19:59  
スタッフ： プロデューサー・ディレクター・構成 浜田剛寛（スポーツ局スポーツ制作部）  
出演者： 金村義明、井上雅雄、市川いずみ

プロ野球解説者という肩書きや枠に収めるにはもったいない男・金村義明がド直球の言葉を投げかける番組。故・仰木彬さんの命日に近いこの日、亡き恩師についてのエピソードを披露しました。仰木さんの豪放磊落な人生、愛すべき人物像、そしてふたりの絆。いつもの爆笑話に加え、ちょっぴりじーんとする話もまじえ、2時間あますところなく語られた番組です。

以上